

施策の柱 5. 3 学校における環境教育の充実

目標 19

各学校と地域との連携による環境教育を充実させ、地域資源を活用した環境学習の回数を増やしていくとともに、スクールエコアクション¹の導入による各学校での環境活動を継続的に実践していきます。

【目標担当課：環境政策課】

■目標の達成状況

項 目	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
地域資源を活用した環境学習(※)の回数	83 回	88 回	83 回
地域資源を活用した環境学習の実施校数 (市立小中学校総数:32 校)	31 校	30 校	29 校

(※)スクールエコアクションの報告から、①地域の自然環境を活用した授業・取り組み、②環境に関する施設見学等の取り組み、③地域の関係団体等の協力のもとに行われた取り組み、④地域の美化に関する取り組みを数えています。

項 目	平成 25 年度
スクールエコアクション導入校	32 校(市内全小中学校)

※平成 23 年度より市内全小中学校で導入。

平成 23 年度に市内の全公立小中学校へスクールエコアクションを導入しました。

また、各学校と地域との連携による環境教育の充実のため、平成 24 年度に環境学習支援サイト「ちがさきエコスクール～学校と地域をつなげる環境教育～」を市ホームページ内に開設しました。

引き続き全学校での取り組みを継続し、全体的な底上げとレベルアップを図っていきます。

学校における環境教育の実施状況については、スクールエコアクションの活動報告から結果を取りまとめています。

今後は市民活動団体等への調査等も行いながら、より正確な実態の把握と支援に努めます。

¹ スクールエコアクション(学校版環境マネジメントシステム): 学校において、児童・生徒等が環境に配慮した生活様式を習得できるように、学校自らの環境活動の方針や目標等を設定し、その達成を目指して継続的に活動に取り組んでいくシステムや取り組みのことです。

重点施策 36 地域と連携した環境教育

■施策のねらい

- ・学校と地域を結びつける情報の提供を可能にする仕組みを構築・運用し、学校における環境教育を充実させます。

■平成 24 年度版年次報告書の内容

課題(環境審議会の評価)

- ・各学校と連携した環境教育を行うこと。
- ・各担当課が合同で実施する環境教育を継続的に実施すること。



今後の方向性(32 年度までに目標を達成するため)

- ・子どもを含めた市民を対象とした自然環境調査員養成講座の開催により、学生や子どもたちの自然に関する理解・知識を深めます。



■平成 25 年度の取り組み

予定していた施策 (◎: 予定していなかったが実施した施策)	実施結果 ([]: 平成 24 年度実績、《 》: 理由等)
学校関係者への環境学習支援サイト「ちがさきエコスクール ² 」の周知	・学校向けにチラシを 3 回(5 月、7 月、3 月)作成し配布しました。
◎環境学習支援サイト「ちがさきエコスクール」の充実	・新コーナーを開設しました(学校の取り組み紹介、市の取り組み紹介、スクールエコアクション、夏休みイベント情報)。 ・「環境マップ作成応援ツール(電子マップテンプレート等)」を提供しました。
◎市職員による学校での出前授業の実施	・11 回(環境政策課 2 回、環境保全課 1 回、資源循環課 1 回、景観みどり課 7 回)[把握なし] 《各課による環境に関する出前授業の報告システムを平成 24 年度末に構築したため平成 25 年度分からの把握となります。》

² ちがさきエコスクール: 平成 25 年 3 月に開設した環境学習支援サイトのことです。全ての学校が情報にアクセスできるよう、市職員が提供する環境プログラムを「出前授業」一覧としてホームページで公表しています。また、出前授業の実施状況を各担当課から環境政策課に報告する仕組みを構築したことにより、環境学習の実施状況をよりの確に把握することが可能となっています。

テーマ 5 計画を確実に進めていくための人づくり
施策の柱 5.3 学校における環境教育の充実

■予算執行状況等

担当課	平成 25 年度予算額	平成 25 年度 決算見込額	平成 26 年度 予算額
農業水産課	0 千円	0 千円	0 千円
環境政策課	0 千円	0 千円	0 千円
景観みどり課	0 千円	0 千円	0 千円



■評価及び理由

A 極めて順 調に進ん でいる	B おおむね順調に 進んでいる	C ある程度進んで いる	D あまり進んでいない	E 今後、積極的な取り組みが必要
100%	90%	75%	60%	40%

【施策実施担当課：農業水産課、環境政策課、景観みどり課】

できたこと・成果

- ・学校関係者へ「ちがさきエコスクール」を周知することで、活用を推進しました。
- ・「ちがさきエコスクール」内に、「学校の取り組み紹介」、「スクールエコアクション」のコーナーを新設し、各学校の優れた取り組みを幅広く周知することで、学校の取り組み全体の底上げを図ることができました。
- ・各学校の優れた取り組みを直接取材することで、子どもたちの意欲向上を図るとともに、協力団体を併せて紹介することで、他校への水平展開が見込めるようになりました。
- ・「ちがさきエコスクール」内に、「市の取り組み紹介」のコーナーを新設し、環境基本計画を周知することができました。
- ・「里山はっけん隊！第 1～3 期生の活動記録」、「身近な自然調べの参加募集」、「各公民館等での環境イベント情報」、「夏休みイベント情報」の掲載により、情報を充実させ「ちがさきエコスクール」の活用方法を広げることができました。
- ・環境政策課主催事業の「里山はっけん隊！（平成 24・25 年度実施）」のプログラムを応用し、環境マップ作成応援ツール（電子マップテンプレート等）を同サイト内で提供することで、地域の自然に親しむ「環境マップづくり」が誰でも簡単にできるようになりました。
- ・市職員による地元の豊かな地域環境資源を活用した出前講座を実施し、学校の環境教育に協力しました。

できなかったこと・問題点

- ・教育現場のニーズの把握が必要です。
- ・地域で独自に行われている、地域資源を活用した環境活動についての実施状況を十分に把握していない面があります。



■今後の方向性(優先度順)

- ・市が保有する幅広いデータを活用して、環境学習に役立つ多彩な支援ツールを提供します。
- ・地域資源の活用による環境活動の実施状況について、より積極的な情報収集を図ります。
- ・各担当課で環境に関連した講座・イベント等の資料を作成する際は、「ちがさきエコスクール」での公表を念頭に置き、小中学校で利活用していただけるよう工夫します。

■スケジュール

短期			中期			長期			
23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
①環境学習支援サイト「ちがさきエコスクール」開設(平成24年度)、掲載情報の随時更新									

環境学習支援サイトのページ上段部分

★：平成 25 年度に開設した新コーナー

☆：平成 25 年度に内容を充実させたコーナー



- ★ 学校の取り組み紹介
- ★ スクールエコアクション
- 出前授業
- 出前授業 実施報告
- 教材等の貸出し・配布
- 環境教育・環境学習リンク集
- ☆ ダウンロードコーナー
- ☆ 親子・子ども向けプログラム
- ★ 知ろう！ 市内の環境への取り組み



重点施策 37 学校における取り組みの支援

■ 施策のねらい

- ・スクールエコアクション(学校版環境マネジメントシステム)を導入・運用し、学校生活での環境活動の実践と浸透のための仕組みを確立して市内小中学校における環境教育を充実させます。

■ 平成 24 年度版年次報告書の内容

課題(環境審議会の評価)

- ・スクールエコアクションが継続されるよう支援すること。
- ・教師を対象とした研修や教育に積極的に取り組むこと。
- ・地元の豊かな地域環境資源を活用とした研修や教育を行うこと。



今後の方向性(32 年度までに目標を達成するため)

- ・スクールエコアクションを活用し、各学校での環境に関する取り組みを把握します。
- ・各学校での優良な取り組みを他校へと広げるため、「スクールエコアクション発表会」等の情報発信を行い、全体的な底上げとレベルアップを図ります。



■ 平成 25 年度の取り組み



スクールエコアクション発表会
 (ちがさき環境フェア 2013)

予定していた施策 (◎: 予定していなかったが実施した施策)	実施結果 ([]: 平成 24 年度実績、《 》: 理由等)
スクールエコアクションの実施	・市内小中学校で特色ある取り組みを実施しています。 ※詳細は、P173～(資料 5)を参照してください。
スクールエコアクション発表会の実施	・ちがさき環境フェア 2013 において赤羽根中と円蔵中の生徒による発表会を実施しました。[なし]
優秀な取り組みの情報発信・共有	・広報紙の中でスクールエコアクションに基づく取り組みを紹介しました。 ・ホームページ(環境フェア)でスクールエコアクション発表会の様子や概要を発信しました。 ・環境学習支援サイト「ちがさきエコスクール」に学校での取り組み内容を掲載しました。 ・上記サイトを更新した際に各小中学校へお知らせのチラシを配付し情報共有を図りました。

テーマ 5 計画を確実に進めていくための人づくり
施策の柱 5.3 学校における環境教育の充実

■予算執行状況等

担当課	平成 25 年度予算額	平成 25 年度 決算見込額	平成 26 年度 予算額
環境政策課	(スクールエコアクション褒賞費) 30 千円	30 千円	30 千円
学校教育 指導課	0 千円	0 千円	0 千円



■評価及び理由

A 極めて順 調に進ん でいる	B おおむね順調に 進んでいる	C ある程度進んで いる	D あまり進んでいない	E 今後、積極的な取り組みが必要
100%	90%	75%	60%	40%

【施策実施担当課：環境政策課、学校教育指導課】

できたこと・成果

- ・各学校で様々な活動が行われており、スクールエコアクションが定着していることが窺えます。
- ・教育委員会及び中学校の協力により、スクールエコアクション発表会が実現し、活動の様子を学校外に発信するという段階にステップアップすることができました。代表校 2 校ともそれぞれの学校の主体性や地域性を生かした活動であり、3 年間の取り組みが発展的に行われたことを実感できる充実した発表でした。発表校同士で互いの取り組みを共有し合うことで、自校における今後の取り組み内容のさらなる充実を図る場となりました。
- ・平成 24 年度末に開設した環境学習支援サイト「ちがさきエコスクール」とリンクした情報発信を行う等、取り組みとして順調に進んでいます。

できなかったこと・問題点

- ・スクールエコアクションをさらに定着させる必要があります。
- ・小学校による発表会等は実現できていません。



■今後の方向性(優先度順)

- ・環境学習支援サイト「ちがさきエコスクール」とリンクした情報発信を継続します。
- ・教員への周知を継続します。
- ・小学校による発表会等を実現させ、小学校にもスクールエコアクションをさらに定着させます。
- ・学校、教員が今後必要としている支援を確認します。

■スケジュール

短期			中期			長期			
23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
① スクールエコアクションの導入・見直し									